



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月24日

上場会社名 日本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5279 URL <http://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三輪 武志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部門管掌 (氏名) 山口 芳美
総務人事部長

TEL 087-894-8130

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,595	11.7	270		295		183	
2019年3月期第3四半期	7,692	6.0	17		16		11	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 227百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 85百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.51	
2019年3月期第3四半期	3.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,133	6,624	50.3
2019年3月期	14,678	6,455	43.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,599百万円 2019年3月期 6,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	4.3	420	72.3	440	54.3	220	80.8	75.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	3,064,200 株	2019年3月期	3,064,200 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	168,183 株	2019年3月期	167,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,896,146 株	2019年3月期3Q	2,896,230 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調が持続しているものの、米中貿易問題の長期化に加え、国内での相次ぐ自然災害や消費税増税などによる影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、営業部門と各支店に配置の営業推進部が連携の上、役所やコンサルに向けた提案営業を鋭意推進するとともに、民需開拓にも注力し受注獲得に努めてまいりました。また、採算性の向上に向けて、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注にも注力いたしました。一方、生産部門においては、生産性の向上をより一層推進するとともに、生産子会社ならびに協力会社との連携を強化しながら更なる原価の低減を推し進め、物流の効率化にも取り組むなど、グループ一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、景観資材事業が第2四半期に引続き好調に推移したことで、85億95百万円（前年同期比11.7%増）となりました。一方、利益面では、増収に加え高付加価値製品の拡販が奏功し、営業利益は2億70百万円（前年同四半期は17百万円の損失）、経常利益は2億95百万円（前年同四半期は16百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億83百万円（前年同四半期は11百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高の状況)

区分	期別		当第3四半期累計期間	
	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	金額	構成比
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
土木資材事業	4,773	62.1	4,925	57.3
景観資材事業	2,017	26.2	2,752	32.0
エクステリア事業	902	11.7	916	10.7
合計	7,692	100.0	8,595	100.0

(土木資材事業)

遅延していた公共工事が進捗するとともに、安全・安心、国土強靱化をキーワードとする災害復旧事業やメンテナンス事業のみならず民間工事の営業にも注力した結果、耐塩害混和材「クロロガード」配合のボックスカルバートや土留め板の採用が増えたほか、ダム整備事業や北陸新幹線工事などの大型工事において高耐久性埋設型枠「SEEDフォーム」が採用されるなど、建設現場における生産性向上や工期短縮に向けて、プレキャスト化の提案を強力に推し進めたことが売上伸長に寄与し、当セグメントの売上高は49億25百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(景観資材事業)

多様化する顧客ニーズに対応すべく、透水・保水や遮熱・バリアフリーなどの機能性と洗い出し・ショット加工・研磨仕上げなどの高い意匠性を備えた豊富な製品ラインナップをベースに、特注対応力を活かした提案営業に注力した結果、東京オリンピック・パラリンピック関連物件が大きく進捗したほか、電線類地中化に伴う歩道整備や大型商業施設などの物件工事も堅調に進捗したことで、主力の舗装材や擬石ファニチュア製品が好調に売上を伸ばし、当セグメントの売上高は27億52百万円（前年同期比36.5%増）となりました。

(エクステリア事業)

積みブロックに代わる安全性を考慮した塀など、新製品の投入や品揃えの強化を図り、ハウスマーカークへの拡販を推進した結果、主力製品の立水栓を始めとするガーデン関連製品が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は9億16百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて15億45百万円減少し、131億33百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで、売上債権の受取手形及び売掛金が12億55百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度に比べて17億13百万円減少し、65億8百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い、仕入債務の支払手形及び買掛金が3億18百万円、短期借入金が9億33百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1億68百万円増加し、66億24百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は50.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、2019年10月25日に発表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日開示の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,146,777	1,247,782
受取手形及び売掛金	4,219,316	2,963,828
電子記録債権	749,784	717,204
商品及び製品	1,060,574	1,332,734
仕掛品	117,511	123,301
未成工事支出金	8,647	40,357
原材料及び貯蔵品	223,027	299,693
その他	40,182	63,682
貸倒引当金	△4,790	△2,510
流動資産合計	7,561,032	6,786,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,021,742	968,325
土地	4,395,431	3,594,791
その他(純額)	737,568	832,334
有形固定資産合計	6,154,742	5,395,452
無形固定資産	191,386	183,626
投資その他の資産		
投資有価証券	503,408	573,002
退職給付に係る資産	64,770	94,508
繰延税金資産	126,533	22,702
その他	87,306	90,420
貸倒引当金	△10,707	△12,717
投資その他の資産合計	771,310	767,915
固定資産合計	7,117,440	6,346,993
資産合計	14,678,472	13,133,068
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,889,822	1,571,653
電子記録債務	901,592	803,347
短期借入金	3,384,395	2,450,712
未払法人税等	71,147	2,953
未払消費税等	94,153	60,549
未払費用	177,430	199,399
賞与引当金	116,349	92,203
役員賞与引当金	7,456	—
その他	349,414	397,966
流動負債合計	6,991,761	5,578,786
固定負債		
長期借入金	1,039,723	706,414
その他	191,264	223,762
固定負債合計	1,230,987	930,176
負債合計	8,222,748	6,508,962

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	2,016,609	2,016,611
利益剰余金	2,299,215	2,425,223
自己株式	△90,964	△91,132
株主資本合計	6,244,660	6,370,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,722	201,174
退職給付に係る調整累計額	33,066	27,957
その他の包括利益累計額合計	185,788	229,131
非支配株主持分	25,274	24,471
純資産合計	6,455,723	6,624,105
負債純資産合計	14,678,472	13,133,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,692,931	8,595,045
売上原価	6,289,063	6,863,666
売上総利益	1,403,867	1,731,379
販売費及び一般管理費	1,421,223	1,461,324
営業利益又は営業損失(△)	△17,355	270,054
営業外収益		
受取配当金	12,384	13,289
受取賃貸料	18,713	12,115
工業所有権実施許諾料	2,407	2,664
物品売却益	14,119	5,447
雑収入	8,191	11,846
営業外収益合計	55,816	45,363
営業外費用		
支払利息	15,011	11,648
賃貸費用	3,836	4,314
雑損失	3,098	3,563
営業外費用合計	21,945	19,525
経常利益	16,514	295,892
特別利益		
国庫補助金	1,500	—
補助金収入	1,729	—
特別利益合計	3,229	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2,032
固定資産除却損	5,767	161
固定資産圧縮損	3,229	—
特別損失合計	8,997	2,193
税金等調整前四半期純利益	10,747	293,698
法人税、住民税及び事業税	25,802	24,202
法人税等調整額	△5,537	84,926
法人税等合計	20,264	109,129
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,517	184,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,855	637
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,373	183,931

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,517	184,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,401	48,451
退職給付に係る調整額	△8,187	△5,108
その他の包括利益合計	△75,588	43,342
四半期包括利益	△85,105	227,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86,961	227,274
非支配株主に係る四半期包括利益	1,855	637

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。